



香川県立中央病院
Kagawa Prefectural Central Hospital

れんけい

題字: 松尾信彦書

データで見る中央病院「整形外科の手術件数」 整形外科診療科長 長野 博志

整形外科では、主に骨折などの外傷外科、人工関節手術などの関節外科、脊椎・脊髄外科、上肢の外科治療を行っています。

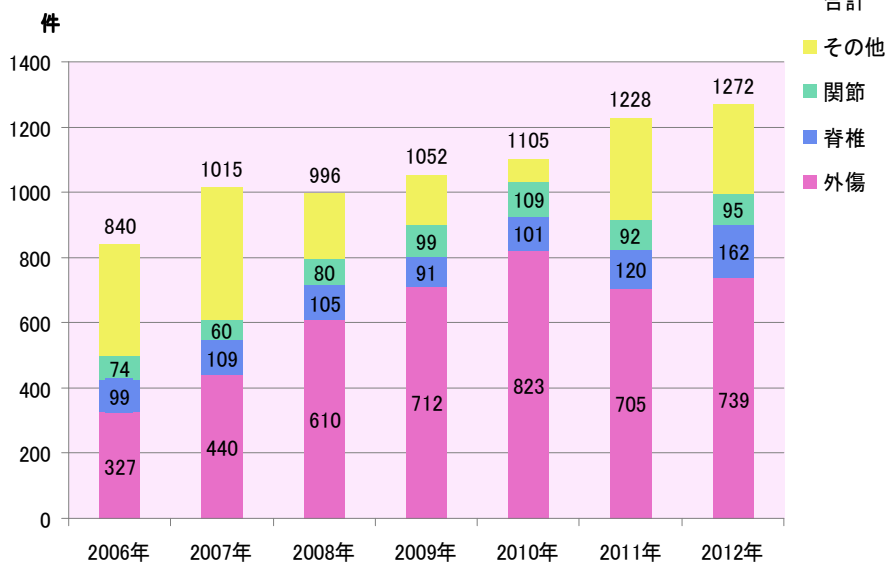
外傷外科では骨盤骨折や多発骨折などの重度外傷、高齢者の転倒による大腿骨近位部骨折などの脆弱性骨折の手術を中心にを行っています。

整形外科領域もインプラントや技術の進歩により、より良い機能回復が望めるようになっていきます。当科の手術件数は年々増加傾向にあり、2012年度の手術総数は1,272件

でした。以前であれば、高齢のため手術治療が難しい患者さんや、内科的疾患のために手術を諦めなければならなかった患者さんも、できるだけ低侵襲での治療、集中的な回復期管理を行い、術後の早期リハビリテーションを行う事で、機能回復が早く、いわゆる“寝たきり”の回避へと導く事ができるようになっています。

今後、救急医療・高度医療を担う当院当科において、さらなる患者数、手術件数の増加が見込まれますが、より安全で質の高い医療に積極的に取り組んでいきたいと考えています。

整形外科での手術件数の推移



認定看護師のご紹介

感染管理認定看護師 大谷 宏実

近年、病院内における、MRSA(メチシリン耐性黄色ブドウ球菌)、多剤耐性アシネトバクターなどの細菌や、インフルエンザウイルス、ノロウイルスなどのウイルスによる院内感染が問題となり、メディアでも頻繁に取り上げられるようになりました。

感染管理認定看護師は、患者さんやご家族の方々はもちろんのこと、医療従事者や病院に関わる全ての人々を対象とし、院内感染から守ることを目的に、他職種と協力し、調査活動、教育・相談活動などを行なっています。

具体的な活動として、サーベイランス(調査)があります。これは、病院内でどのくらいの感染症がおきているのかを把握し、院内感染を減らすために行なう重要な活動です。当院ではMRSAをはじめとする耐性菌や、医療器具に関連して引き起こされる感染症のサーベイランスを行なっています。また、MRSAなどが検出された部署をラウンドし、感染拡大防止策の指導・相談も行なっています。

また、最近では、地域の医療機関における感染対策の質の向上に向けた活動として、感染管理に関する専門的な知識を有する医療従事者を中心にネットワークを作り、専門家を有しない医療施設を対象としたカンファレンスも行なっています。

院内・院外を問わず、感染対策に関する正しい知識と技術の普及に努めていきたいと考えています。

職場紹介「産婦人科」

産婦人科診療科長 米澤 優

当院産婦人科は、「婦人科腫瘍専門医」本郷、米澤、四国で1人の「女性医学会専門医」齋藤、「周産期専門医、超音波専門医」高田、露木、藤川(非常勤)に加え平成25年10月より永坂(非常勤)、大道を新たに迎え8人体制となり、外来、分娩及び手術を中心に救急外来、手術に対応しています。年間手術例約600例と豊富な症例数を誇り、齋藤医師はレゼクトスコープ(経頸管的手術による粘膜下筋腫切除術など)を多数実施しています。婦人科疾患、特に悪性腫瘍は年々増加していますが、香川県で唯一、婦人科腫瘍専門医が複数存在する利点を生かし、高度な医療を提供し、患者さん、ご家族の方と共にQOLの向上を目指し、職員一同チームとなり、入院管理と24時間いつでも対応できる体制を取っています。



年間分娩数約500例、安全が確保された上での自然分娩を基本方針とし、できる限り希望に添った快適な分娩を大切にしたいと考えており、正常妊娠、分娩だけではなく、様々な母体合併症を持った妊婦の方々、妊娠に伴う合併症の対応、当院が三次救急指定病院であるため、産科以外の救急疾患を起こした妊婦さんも搬送されてきます。以上のような妊婦さんやお産の方には各科の先生方と綿密な連携を取り合い治療、診療にあたっています。

来年3月の新病院開院も近づき、今後も地域医療に貢献を続け、今まで以上に質の高い産婦人科医療を皆様に提供できるよう頑張ってまいりますので、よろしくお願いします。

公開健康講座を開催しました。

9月28日(土)、当院南館10階会議室において、公開健康講座を開催しました。

タイトルは「骨粗しょう症について～骨を強くして健康寿命を延ばしましょう～」。

まず最初に、当院整形外科の長野博志医師により、骨粗しょう症とは何か、原因にはどのようなものがあるか、最新の治療方法についてなど、はじめての方でもわかりやすい講演がありました。

次に、管理栄養士の長地亜矢技師が、骨粗しょう症予防のための食事について、骨を丈夫にするためには、低脂肪牛乳、小魚、緑黄色野菜、ひじきなどでカルシウムを補給すると共に、コラーゲンなどバランスの良い食事を取ることが大切であるとお話しました。休憩を挟んだ後、最後に理学療法士の安岐佳子技師長が、ロコモティブシンドロームについてお話しし、参加者全員でロコモ体操をしました。

当日の参加者は110名で、会場は一杯になりました。参加者の皆さんからはたくさんの質問が出され、骨粗しょう症に対する県民の皆さんの関心の高さがうかがわれました。簡単な質問に答えるだけで今後10年間の骨折発生リスクが予測できる「FRAX」による調査も実施され、講座は予定時間を大幅にオーバーし、大盛況のうちに終えることができました。

これからも、皆さんが興味を持って参加いただける公開健康講座を開催してまいります。積極的なご参加をお待ちしております。



歴史の勉強は楽し♪(その6)

消化器・一般外科
診療科長 鈴木 伊智雄

前回、司馬遷の「史記」からの逸話を紹介しましたが、日本史に戻る前にもう一回史記のお話をしましょう。今回は史記の中で私が最もカッコいいと思う男を紹介します。秦の始皇帝の時代の少し前、戦国時代後期のことです。この時代は秦だけが強大でそれ以外の魏・韓・趙・斉・燕・楚の国々は皆弱く、どの国王も秦王の顔色をうかがっていた時代です。

秦の昭王は趙(ちょう)の国に伝わる「和氏の璧(かしのへき)」という名の宝石を奪おうと思い、趙の恵文王に和氏の璧と秦の領土の一部との交換を持ちかけました。もちろん領土を与える気はありません。恵文王から和氏の璧だけを奪われることのないように指示された使者の藺相如(りんしょうじょ)は命がけの交渉で和氏の璧を守り通しました。またその後、秦と趙の外交の席で趙の恵文王を辱めようとする秦の昭王に対し、藺相如は巧みな弁舌で堂々と渡り合い、恵文王の名誉を護りました。これらの功績で藺相如の位階は、趙軍を率いる廉頗(れんぱ)將軍より高くなりました。武功を誇る廉頗將軍は弁舌だけの藺相如の下位になったことに腹を立て、「藺相如に会ったただでは済まんぞ」と言い触りました。

ところがそれを聞いた藺相如はひたすら廉頗將軍から逃げ隠れていました。それを齒がゆく思った藺相如の従者が「あなたを見損なったので暇をもらいたい。」と申し出たところ、藺相如は「廉頗將軍と秦の昭王のどちらの方が恐ろしいと思うか。」と尋ねました。従者が「昭王です。」と答えると、藺相如は「昭王さえ恐れなかった私が廉頗將軍を恐れるわけがないではないか。今、秦が趙に攻めて来ないのは趙に廉頗將軍と私がいるからであって、二人が争えばどちらかが倒れるだろう。そうなると趙は秦に滅ぼされてしまう。私が廉頗將軍から逃げ隠れているのは、国家の存亡を第一に考え私事の怨みは後回しにしているからだ。」と言いました。これを伝え聞いた廉頗將軍は深く恥じ入り、自分を罰するためいばらを体に巻いて藺相如を訪ね、謝罪しました。以後二人は和解し、刎頸(ふんけい)の交わり(生死をともにし、首をはねられても心変わりしないほどの友情のこと)を結びました。

藺相如の態度は我々医療に携わる者も見習うべきですね。例えば病院職員でしたら、患者の命を守るという崇高な使命のためには、普段は意見が対立している人とも協力して仕事をするとか・・・。



公開講座のお知らせ

「肝がんとC型肝炎の最新治療」

「各種社会保険給付等について」

肝がん、C型肝炎の新しい治療法や、がん患者の就労上の問題と解決方法などについてお話します。

- 日時: 平成25年12月8日(日)10時～12時
- 場所: 当院南館10階会議室
- 講師: 当院肝臓内科主任部長 高口 浩一、社会保険労務士・行政書士 奈良 恵子

医療セミナーの開催予定

地域の医療機関の先生方を対象とした医療セミナーを開催します。

- 日時: 平成26年1月16日(木)19時～
 - 場所: 当院南館10階会議室
 - テーマ: **オンコロジーエマージェンシー**
 - 講師: 当院 呼吸器外科 青江 基、救命救急センター 岡 智
- 多数の先生方のご参加をお待ちしております。

医療セミナーの開催予定

地域の医療機関の先生方を対象とした医療セミナーを開催します。

- 日時: 平成26年2月6日(木)19時～
 - 場所: 当院南館10階会議室
 - テーマ: **PET-CT による腫瘍診断**
 - 講師: 福山市民病院 放射線診断・IVR科 統括科長 奥村 能啓(よしひろ) 先生
- 多数の先生方のご参加をお待ちしております。

第5回香川県立中央病院 病院祭を開催します

香川県立中央病院では、本県の中核病院としての役割や医療機能等を広く県民の皆様にご理解いただくとともに、地域の医療機関の方々とにより一層の連携強化を図るため、「病院祭」を開催しています。

来春には、朝日町への移転を予定しており、現在の番町で開催するのは今回が最後となります。中央病院の生い立ちから今日までのパネル展示、公開講座(実技を交えた救命救急、認知症や歩行障害の予防、新病院の紹介)、コンサート、手打ちうどんの実演・おもてなし、野菜・花の展示即売など、皆様のご来院をお待ちしています。

◇日 時 平成25年11月16日(土)午前11時～午後3時(予定)

◇場 所 香川県立中央病院 南玄関周辺



医師の人事異動

自己紹介は、①出身大学 ②卒業年
③趣味 ④抱負です。

転入

10月1日付

山本 久美子 (消化器内科)

① 滋賀医科大学

② 平成14年

③ 散策、旅行、茶道

④ 微力ではありますが地域医療に貢献できよう努めてまいります。よろしくお

願います。



大道 千晶 (産婦人科)

① 香川大学

② 平成22年

③ 写真

④ 精一杯がんばります。よろしくお願



永坂 久子 (産婦人科)

① 徳島大学

② 平成5年

③ 無駄な時間を過

ごすこと
④ 微力ながら、少しでもお役にたてばと思



益田 智章 (心臓血管外科)

① 香川大学

② 平成23年

③ ヨット、写真

④ がんばります。



吉川 理津子 (総合診療科)

① 徳島大学

② 平成12年

③ 旅行

④ 総合診療科で頑張ります。



大西 信彦 (研修医)

① 香川大学

② 平成24年

③ スポーツ鑑賞

④ 2ヶ月間麻酔科で頑張ります。



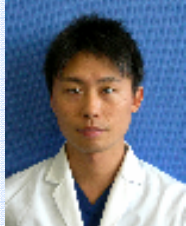
内藤 貴教 (研修医)

① 奈良県立医科大学

② 平成24年

③ 硬式テニス

④ 循環器内科で3か月間よろしくお願



転出

9月30日付 渋川 昇平 (産婦人科)、久保 博之 (研修医)

10月31日付 三好 正嗣 (消化器内科)